

くずし字入門講座

2/3

福井県文書館 2024.6.9

(当日の講座の提示・配布資料をWEB公開用に改めたものです)

本日の内容 演習スタイルにて

- ・ 頻出のひらがなのくずし字
- ・ 紫式部と同時代の百人一首の歌やその他

どうみても「の」！ 「な」？ 「は」？

か	
可	加
う う う う う	か か わ わ
	閑
	あ あ あ あ あ

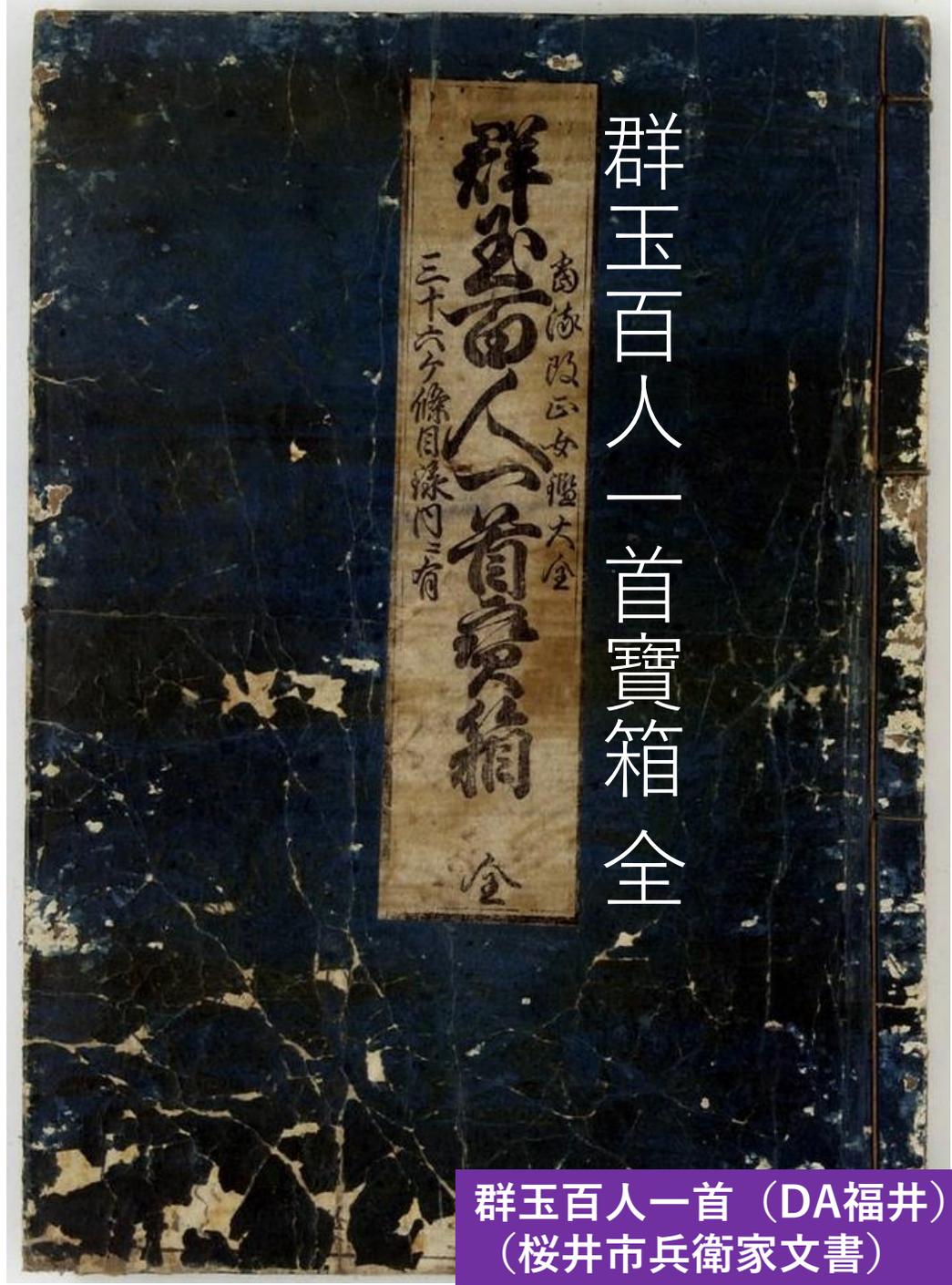


可 → か

よ

百人一首中の 光る君への登場人物 「群玉百人一首寶（宝）箱 全」

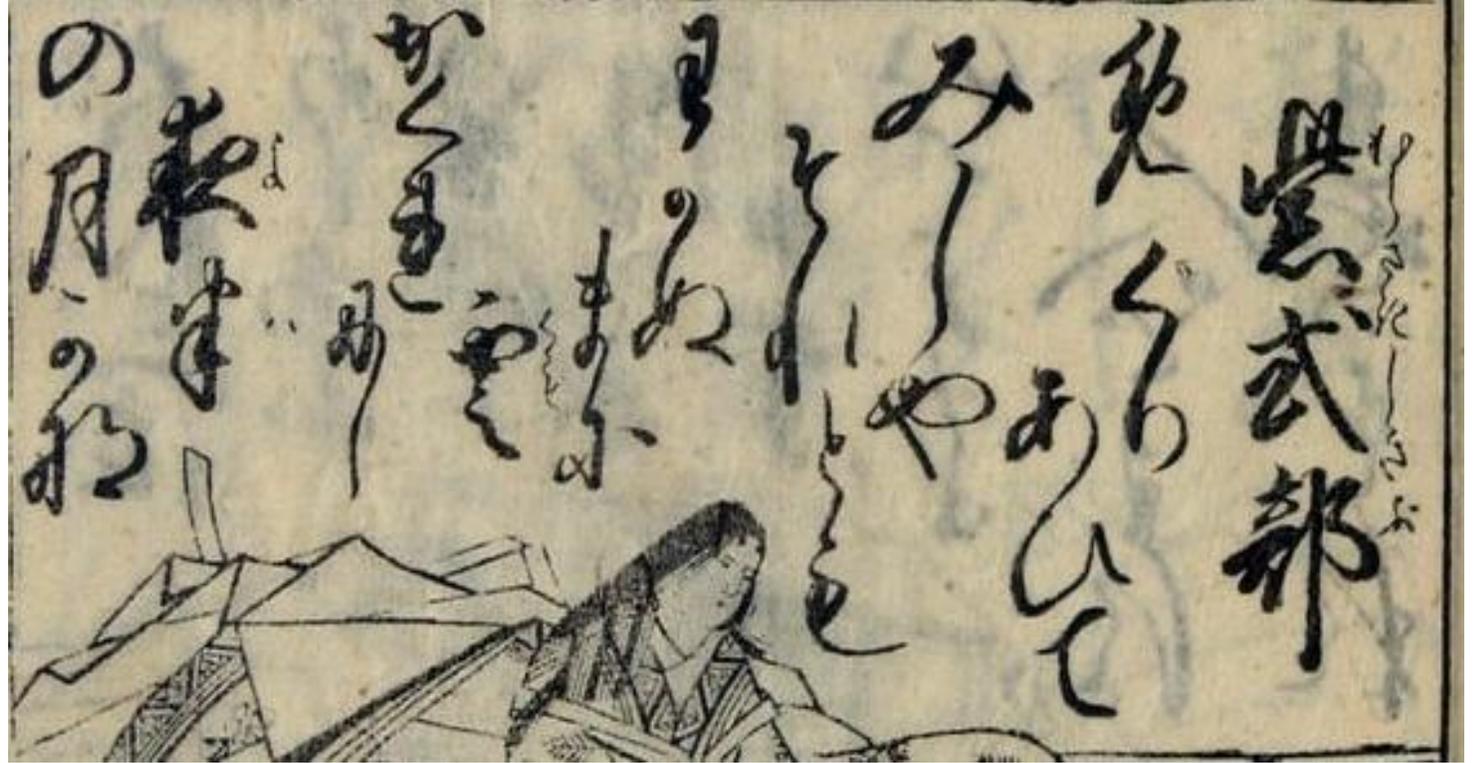
正徳3年（1713）刊行
女子用の往来刊本（教科書）
江戸時代の字形



群玉百人一首（DA福井）
（桜井市兵衛家文書）

元の漢字は？

紫式部日記の詞書
「はやうより わらはともだちな
りし人に、としごろへて行きあひ
たるが、ほのかにて、七月十日の
程に月にきほひてかへりにけれ
ば」



むらさ起しきぶ

紫式部

免ぐりあひて

みしや

それと毛

王可ぬ

マル

雲

かく連

丹し

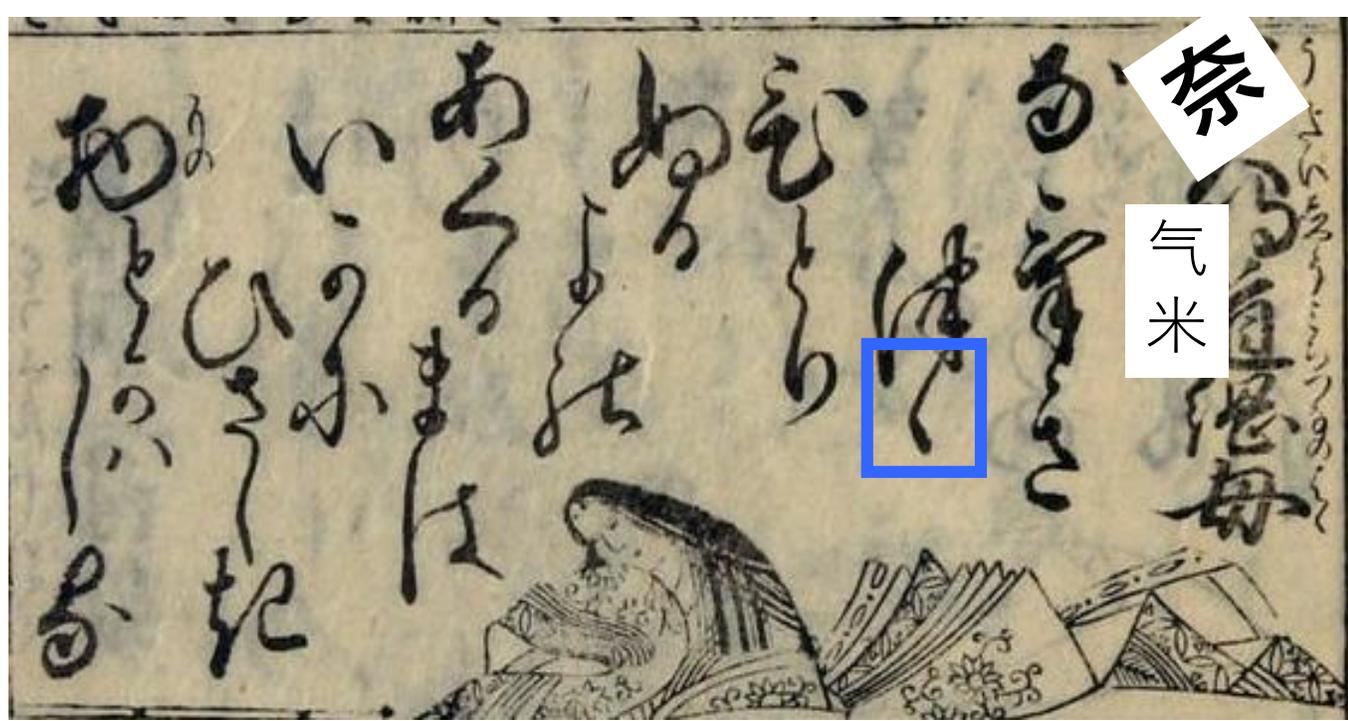
夜半

の月可那

踊り字



タテに書かれる字



気米

拾遺集の詞書
「入道摂政まかりたりけるに、
門を遅く開けければ、立ちわ
づらひぬ、と言ひ入れて侍り
ければ」

う多い志也うみちつ奈の者ゝ

右大将道綱母

奈気き

津、

飛とり

ぬる

よ能

あくるまは

い可尔

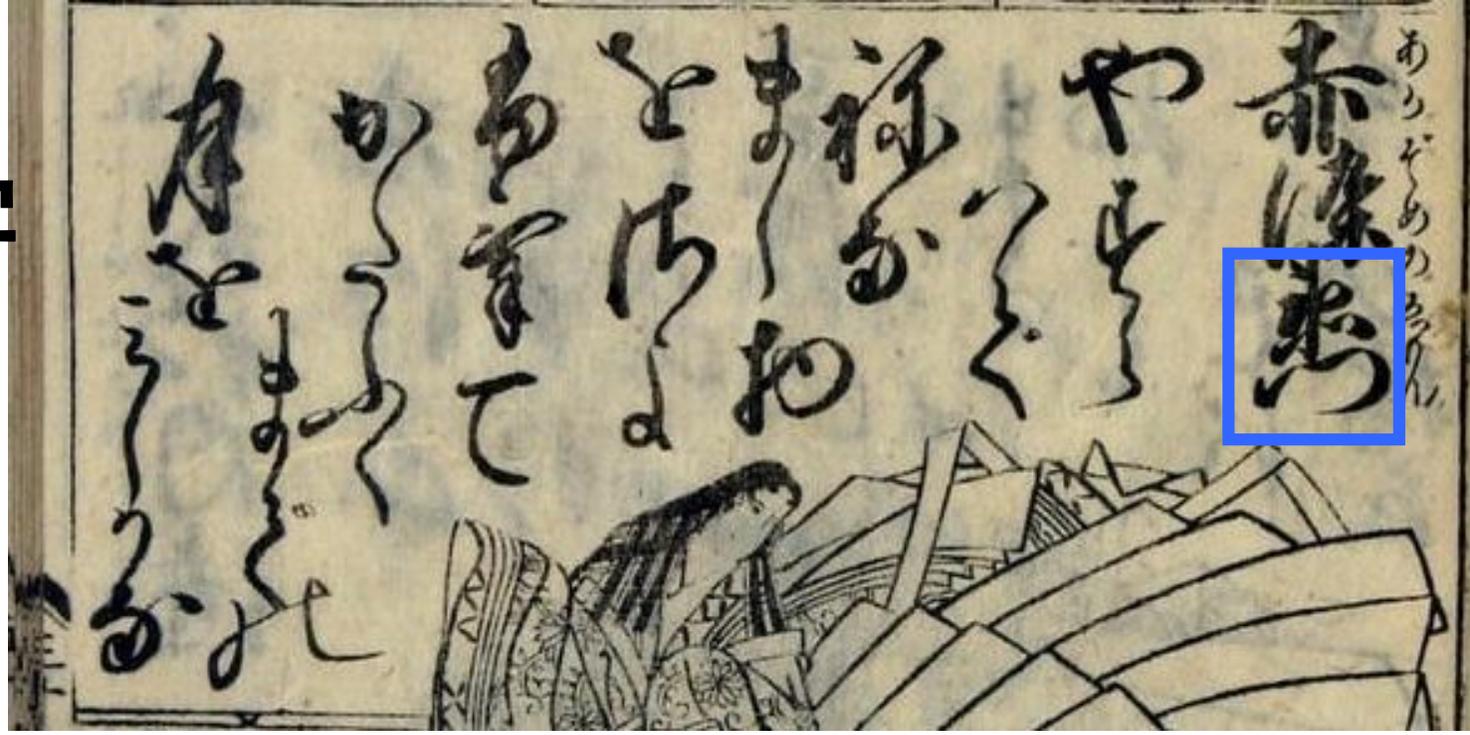
ひさし起

物と可ハ

し累

百人一首3/4

頻出漢字のくずし字



後拾遺若集の詞書
 「中関白、少将に侍りける時、
 はらからなる人に物言ひわたり
 侍りけり。頼めて来ざりけるつ
 とめて、女に代わりて詠める」

あ可ぞめのゑ毛ん

赤染衛門

や春ら

ハ天

祢奈

まし物

を佐よ

布気て

か多不く

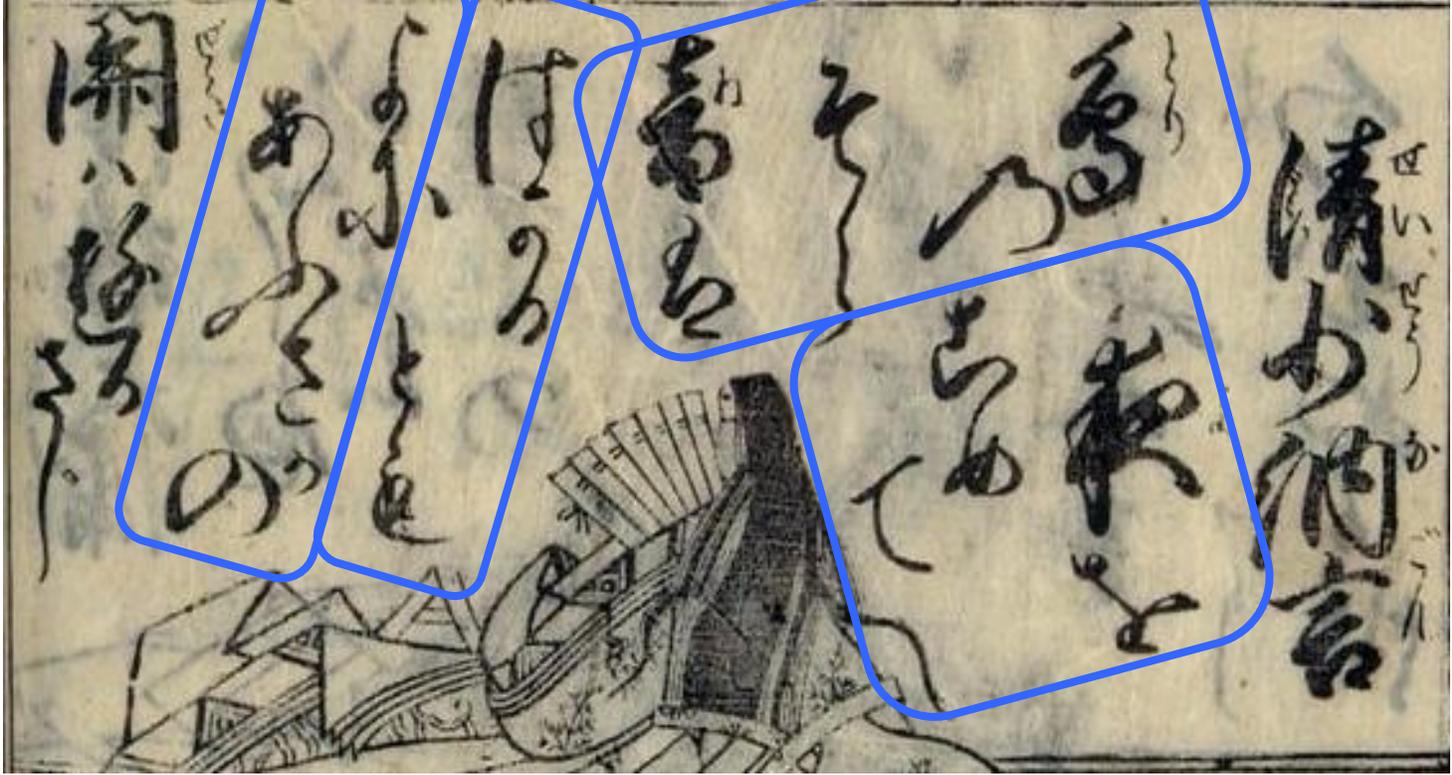
ま天能

月をミし可奈

散らし書き

後拾遺若集の詞書

「大納言行成ものがたりなどし侍けるに、うちの御物忌にこもればとて、いそぎかへりてつとめて、とりのこゑにもよほされてといひおこせて侍ければ、よぶかかりけるとりのこゑは函谷関のことにや、といひにつかはしたりけるをたちかへり、これはあふさかのせきにはべりとあればよみはべり」



せいせう奈ごん

清少納言

鳥 夜を

乃 古めて

そら

音遠

波可留

与尔 と毛

あふさ可の

関ハ遊留

さじ

詞書

Handwritten lyrics in cursive script, likely a waka poem, consisting of several lines of text.

肥後

葉山

和歌

Multiple columns of handwritten lyrics in cursive script, including the characters '肥後' (Fiefdom of Higo) and '葉山' (Yamahata).

Handwritten text in cursive style, possibly a signature or a short passage. The text is written vertically on aged paper. A blue box highlights a portion of the text.

見乃舟尔て

Handwritten cursive text corresponding to the printed characters above.

ゆふ多ち能

Handwritten cursive text corresponding to the printed characters above.

悲ぬく世よし遠

Handwritten cursive text corresponding to the printed characters above.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a name, with a blue rectangular box highlighting a portion of the text.

Handwritten signature or name, possibly "M. J. ...".

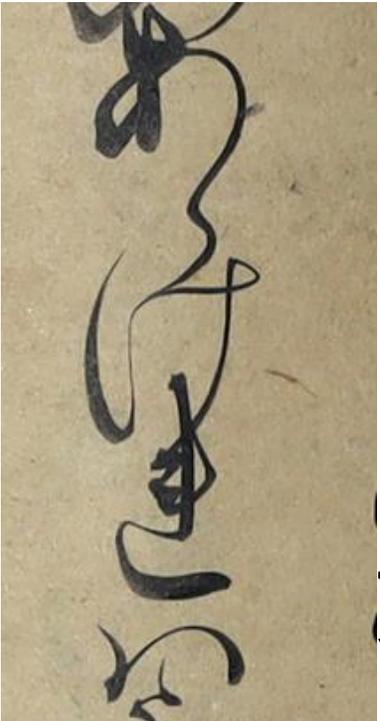
Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a name.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a name.

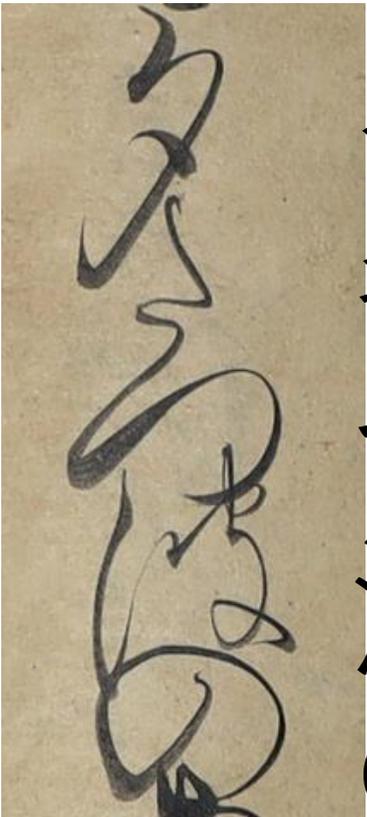
Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a name.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a name.

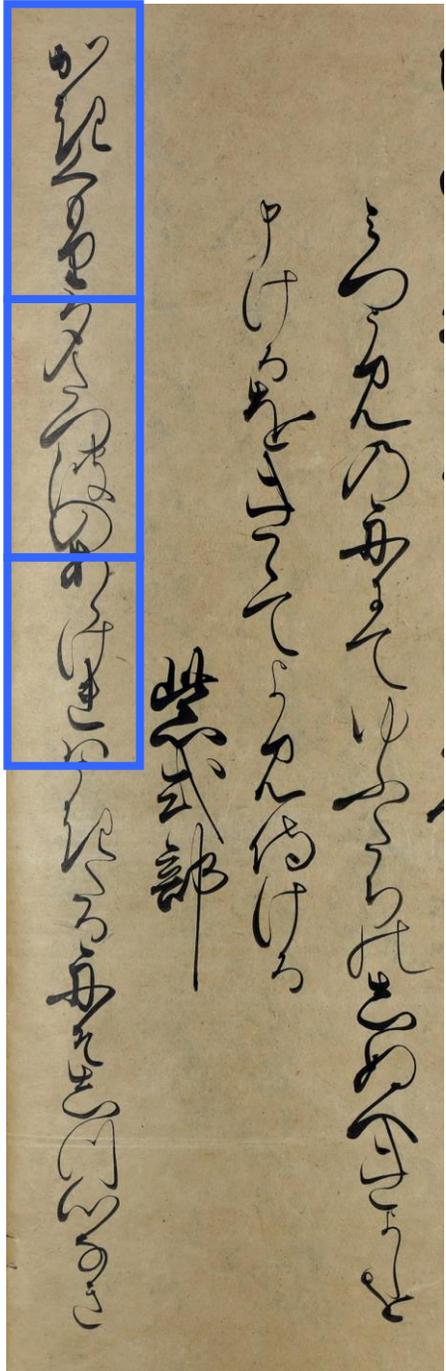
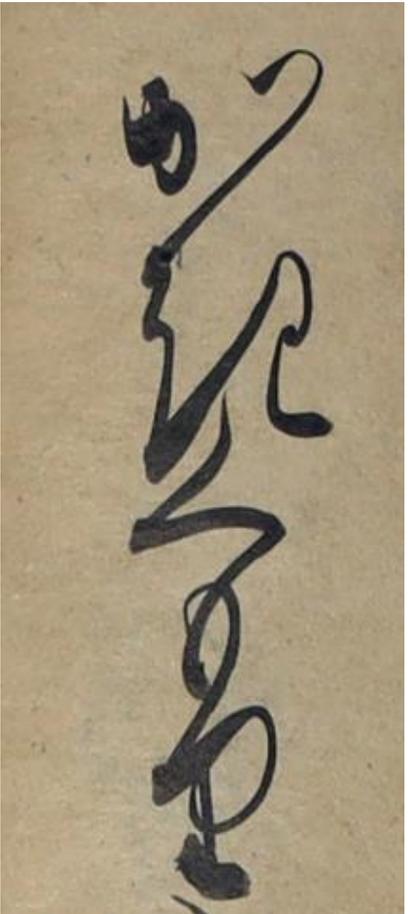
あられ連八



夕多の波の



か起くも
罍



天保十三年

みつうみの舟にて ゆふたちのしぬへきよしを
かきくもり 夕たつ波の あらければ
うきたる舟そ しつ心なき

紫式部

みつう見乃舟尔て ゆふ多ち能志ぬへきよし遠
申けるをきゝて よ見侍ける

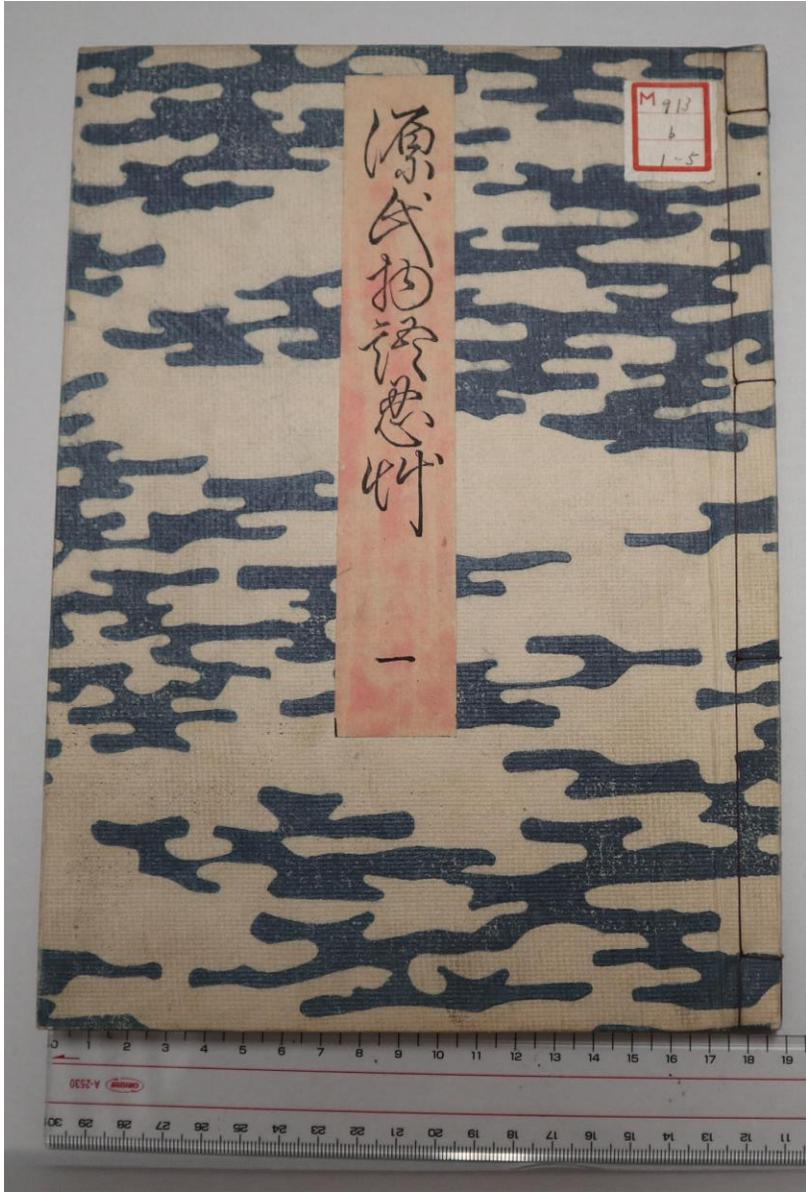
紫式部

か起くも里 夕多つ波の あらけ連ハ
う起多る舟そ 志川心なき

みつうみの舟にて ゆふたちのしぬへきよしを
申けるをきゝて よみ侍ける

紫式部

かきくもり 夕たつ波の あらければ
うきたる舟そ しつ心なき



「源氏物語忍草」

松平文庫M218500000：当館保管

きりしはを
 心げきの清時あり。女清更衣あまのゆきもあはれ
 ひ事秋中ふやむとてなをさだまふあはれねがはずら
 ちりもももゆきと巻ふ書し相違の更衣あり此
 人の大納言のむとをえたり父大納言とくうり
 給ふり此更衣ありすくまを海ゆかりね
 けまの帝ふま更なるばさひをまをさ
 給ふんまをくありきまをさひをまをさ
 げくうり出路と父大納言遺言をまの母君と
 ちりあ清時あはれゆきあり給ふまのゆきと

読解用

き

きりつはな

の御時 女御更衣あま さ ひ給

ひげまの所時あり女御更衣あまのゆきぬひ給

ひ 中 やむ となき あらぬ すぐれて

ひ事秋中ふやむひげまのゆきぬひ給

給ふと巻 書し 桐壺の更衣 此

ひげまのゆきぬひ給ふと巻ふ書し桐壺の更衣あり此

人 大納言のむ なり父大納言 とくう

人 大納言のむとをより父大納言よりとくう給

給 此更衣か すぐ 心 ゆふ

給 此更衣ありすぐ心ゆふ

け 帝 奉 なばさ ひをも

け 帝 奉 なばさ ひをも

給 我なく り と して御宮

給 我なくありきりして御宮

出 と父大納言遺言な バ母君とか

出 と父大納言遺言なバ母君とか

御宮 出 給 御心ざし

御宮 出 給 御心ざし

解答

き里徒本

以徒連の御時尔可 女御更衣あま多 さ婦らひ給

ひ給連の所時あり 女所更衣あま多と母らひ給

ひ希類 中尔やむ古となき起者尔あらぬ可すぐれて

ひ事秋中ふやむむらとたふあぬがすぐれて

と機免 機給ふと巻 尔書しハ 桐壺の更衣奈り此

と機免機給ふと巻 尔書しハ 桐壺の更衣奈り此

人盤大納言のむ春免なり父大納言 者とくう勢

人盤大納言のむと春免なり父大納言者とくう勢

給 遍り此更衣か多ち すぐ連心さ満ゆふ尔於者し

給遍り此更衣か多ち すぐ連心さ満ゆふ尔於者し

け連ハ 帝尔奉里なばさ以者ひをも 飛機以帝

け連ハ帝尔奉里なばさ以者ひをも 飛機以帝

給者ん 我なく奈り堂里と毛以可尔毛して御宮

給者ん我なく奈り堂里と毛以可尔毛して御宮

徒可部耳出 勢と父大納言遺言な 連バ母君とか具

徒可部耳出 勢と父大納言遺言な 連バ母君とか具

志帝御宮徒可 遍耳 出し給不丹み可と御心ざし

志帝御宮徒可 遍耳 出し給不丹み可と御心ざし

解答（ひらがな化）

きりつば

きりつば

いづれの御時にか女御更衣あまたさぶらひ給

ひげまの所時あり女御更衣あまたさぶらひ給

ひける中にやむごとなききはにあらぬがすぐれて

ひき中ふやむごとなききはにあらぬがすぐれて

ときめき給ふと巻に書しは桐壺の更衣なり此

ときめき給ふと巻に書しは桐壺の更衣なり此

人は大納言のむすめなり父大納言はとくうせ

人は大納言のむすめなり父大納言はとくうせ

給へり此更衣かたちすぐれ心さまゆふにおはし

給へり此更衣かたちすぐれ心さまゆふにおはし

ければ帝に奉りなばさいはひをもひきいで

ければ帝に奉りなばさいはひをもひきいで

給はん我なくなりたりともいかにもして御宮

給はん我なくなりたりともいかにもして御宮

づかへに出せと父大納言遺言なれば母君とかく

づかへに出せと父大納言遺言なれば母君とかく

して御宮づかへに出し給ふにみかと御心ざし

して御宮づかへに出し給ふにみかと御心ざし